

ロンドン 2026 年 2 月 26 日

オーストリア、フェストアルピーネの熱間圧延機向けラミナー冷却装置更新工事を受注

- ストリップ全幅・全長にわたる均一かつ精密に材料特性に応じて最適化された冷却新たな先進鋼種の開発を可能に
- 計画停止期間中に工事を行い、ダウンタイムを最小化

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies) は、フェストアルピーネ シュタール (voestalpine Stahl GmbH) がオーストリア、リンツに擁する年産 500 万トン規模の熱間圧延機 (HSM) におけるラミナー冷却装置の更新工事を受注しました。本プロジェクトにより、リンツ HSM に最先端の機械設備および自動化ソリューションを継続的に導入してきた両社の長年にわたるパートナーシップが強化されます。この度の更新は、高まる品質要求に応えつつ、欧州フラット製品市場におけるフェストアルピーネの主導的地位をより確かなものにします。

冷却能力の向上

プライメタルズ テクノロジーズは、現在の製品ポートフォリオにある全鋼種、特に高張力鋼に要求される冷却能力に対応するとともに、将来の鋼種開発を見据え、ストリップ冷却セクションの強化を実施します。

本工事では、冷却セクション全体にわたる精密な水量管理のために新型ラミナー冷却ヘッダーおよび流量制御バルブを導入します。加えて、新たなローラーテーブルサイドガイド、ウォーターナイフ、クロスプレーシステムも組み込みます。当社は、関連するすべての流体システムのほか、電気および基本自動化コンポーネントを供給します。

新型冷却ヘッダーは、流量制御バルブにより広範囲の調整が可能で、製品仕様に応じて緩冷から急冷まで同一設備で対応します。また、各バルブの流量特性曲線はシステムに自動記録されます。

新たな先進鋼種の開発に貢献

この更新により、ストリップ幅方向・長手方向の均一で制御された、材料特性に応じた冷却プロファイルが実現されます。また、表裏面間の熱流束バランスも最適化されます。このような改善により、特に自動車向けを中心とした、より高度で高性能な鋼種の開発が可能になります。

本工事は、2027年および2028年に計画されている各年約10日間の計画停止期間中に実施し、生産への影響を最小限にとどめます。



フェストアルピーネの熱間圧延機におけるラミナー冷却装置

プレスリリース（英語）および報道用画像は [Press Releases | Primetals Technologies](#) に掲載しています。日本語版の閲覧・ダウンロードは各プレスリリースからダウンロードページにお進みください。

報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社

戦略企画・広報部 石崎

〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業 広島製作所内

電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ SNS 公式アカウント

[linkedin.com/company/primetals](https://www.linkedin.com/company/primetals)

Primetals Technologies, Limited
A Group Company of Mitsubishi Heavy Industries
Communications

Chiswick Park, Building 11, 566 Chiswick High Road

W4 5YS London
United Kingdom

facebook.com/primetals

x.com/primetals

[instagram.com/primetals technologies](https://instagram.com/primetals_technologies)

youtube.com/primetalstechnologies

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies) は本社を英国、ロンドンに置き、金属鉄鋼産業におけるエンジニアリング、プラント建設、およびライフサイクルサービスの提供を行うパイオニアかつ世界的リーダーです。当社は電機、オートメーション、デジタルイゼーション、及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、原材料から完成品まで鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は三菱重工グループ 100%出資によるグループ会社で、従業員数は全世界で約 7,000 人です。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト : primetals.com/jp